



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年11月11日

上場会社名 木村工機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6231 URL <https://www.kimukoh.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 木村 惠一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 西島 務 TEL 050 (3733) 9400

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日—

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,964	15.7	378	44.1	376	△23.6	250	△25.1
2022年3月期第2四半期	4,292	△15.6	262	△55.6	492	△17.5	334	△17.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	68.34	—
2022年3月期第2四半期	88.96	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	15,214	6,986	45.9
2022年3月期	15,157	6,973	46.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 6,986百万円 2022年3月期 6,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,400	11.8	1,200	10.2	1,150	△13.6	710	△19.1	195.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	3,849,000株	2022年3月期	3,849,000株
2023年3月期2Q	245,125株	2022年3月期	144,625株
2023年3月期2Q	3,671,019株	2022年3月期2Q	3,764,449株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波流行による感染者数の急増がありました。行動制限の緩和等による社会経済活動の正常化が進み、個人消費は緩やかな回復の動きが見られました。

ただ、ロシアによるウクライナ侵攻、原材料やエネルギー価格の上昇、半導体をはじめとする電子部品や材料等のひっ迫、電気料金の値上げ、急激な円安など、企業の調達環境は厳しい状況が続いています。

このような中、当社は、生産工程の見直しや部品調達の多様化、また原材料価格高騰に対応した製品価格の改定など、物量面・採算面の改善に取り組んでまいりました。

また、高井田工場の建設および八尾製作所内の一部建て替えが完了したことに続き、八尾製作所内の別棟（主工場棟および管理棟）の建て替えが進行中であり、今後の生産力増強にも取り組んでいます。

この結果、当社の当第2四半期累計期間における売上高については、前期から受注が回復基調であり、産業・商業・保健の各分野いずれも堅調に推移しました。特に国内設備投資の好調さを受け、産業分野が大きく伸びました。

一方、利益面では、生産工程の見直しや部品調達の多様化、原材料価格高騰に対応した製品価格の改定の取り組みなどにより、営業利益率が前年よりやや改善いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高4,964,810千円（前年同期比15.7%増加）、営業利益378,589千円（同44.1%増加）、経常利益376,426千円（同23.6%減少）、四半期純利益250,889千円（同25.1%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は15,214,722千円となり、前事業年度末に比べ57,340千円増加いたしました。これは主に、棚卸資産の増加548,487千円、建物の増加496,657千円、現金及び預金の減少580,925千円、売上債権の減少278,950千円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は8,228,297千円となり、前事業年度末に比べ44,311千円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加461,404千円、退職給付引当金の増加77,596千円、短期借入金の減少370,000千円、未払法人税等の減少116,329千円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は6,986,424千円となり、前事業年度末に比べ13,029千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上による増加250,889千円、自己株式の取得による減少144,692千円、剰余金の配当による減少92,609千円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末より580,925千円減少し、当第2四半期会計期間末には1,668,702千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は240,907千円（前年同期は489,678千円の収入）となりました。これは主に、棚卸資産の増加額548,487千円、税引前四半期純利益375,063千円、売上債権の減少額278,950千円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は669,140千円（前年同期は283,613千円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出622,227千円、無形固定資産の取得による支出47,032千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は152,692千円（前年同期は297,003千円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入550,000千円、短期借入金の純減額370,000千円、自己株式の取得による支出145,126千円、配当金の支払額92,521千円等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,249,627	1,668,702
受取手形	575,741	552,268
電子記録債権	1,431,355	1,523,965
売掛金	2,125,193	1,777,106
製品	486,035	906,834
仕掛品	266,464	345,511
原材料及び貯蔵品	620,394	669,036
前払費用	77,116	90,689
その他	93,670	6,192
貸倒引当金	△15,743	△14,682
流動資産合計	7,909,856	7,525,623
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,702,726	2,199,383
構築物（純額）	74,893	104,824
機械及び装置（純額）	587,632	604,067
車両運搬具（純額）	3,584	7,281
工具、器具及び備品（純額）	195,897	192,251
土地	3,168,772	3,168,801
リース資産（純額）	7,582	2,930
建設仮勘定	397,712	263,960
有形固定資産合計	6,138,801	6,543,500
無形固定資産		
ソフトウェア	33,152	84,888
リース資産	1,412	847
ソフトウェア仮勘定	12,780	780
その他	890	869
無形固定資産合計	48,235	87,385
投資その他の資産		
投資有価証券	34,871	34,158
長期前払費用	14,863	13,520
繰延税金資産	752,628	752,783
その他	284,663	284,289
貸倒引当金	△26,539	△26,539
投資その他の資産合計	1,060,487	1,058,211
固定資産合計	7,247,525	7,689,098
資産合計	15,157,381	15,214,722

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	995,543	1,023,705
買掛金	463,756	452,727
短期借入金	1,175,000	805,000
1年内返済予定の長期借入金	133,882	149,692
リース債務	9,273	4,107
未払金	293,228	225,229
未払費用	50,785	52,205
未払法人税等	271,401	155,072
未払消費税等	—	11,744
契約負債	6,497	7,350
預り金	38,152	39,233
賞与引当金	175,450	196,167
役員賞与引当金	19,364	11,656
製品保証引当金	6,120	7,610
流動負債合計	3,638,455	3,141,501
固定負債		
長期借入金	2,060,166	2,521,570
リース債務	480	—
資産除去債務	102,315	102,315
退職給付引当金	2,083,259	2,160,855
役員退職慰労引当金	295,900	300,506
その他	3,409	1,549
固定負債合計	4,545,530	5,086,796
負債合計	8,183,986	8,228,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	744,896	744,896
資本剰余金		
資本準備金	637,896	637,896
その他資本剰余金	59,754	59,754
資本剰余金合計	697,650	697,650
利益剰余金		
利益準備金	117,500	117,500
その他利益剰余金		
別途積立金	2,650,000	2,650,000
繰越利益剰余金	3,046,796	3,205,076
利益剰余金合計	5,814,296	5,972,576
自己株式	△292,226	△436,919
株主資本合計	6,964,617	6,978,204
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,777	8,219
評価・換算差額等合計	8,777	8,219
純資産合計	6,973,395	6,986,424
負債純資産合計	15,157,381	15,214,722

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	4,292,821	4,964,810
売上原価	2,631,941	3,082,820
売上総利益	1,660,879	1,881,990
販売費及び一般管理費	1,398,102	1,503,400
営業利益	262,776	378,589
営業外収益		
作業くず売却益	9,394	14,720
保険解約返戻金	175,907	—
助成金収入	59,121	—
その他	5,980	2,955
営業外収益合計	250,403	17,676
営業外費用		
支払利息	9,689	14,961
債権売却損	8,698	4,444
その他	2,126	434
営業外費用合計	20,514	19,839
経常利益	492,665	376,426
特別損失		
固定資産除却損	76	1,362
特別損失合計	76	1,362
税引前四半期純利益	492,588	375,063
法人税、住民税及び事業税	157,693	124,174
法人税等合計	157,693	124,174
四半期純利益	334,895	250,889

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	492,588	375,063
減価償却費	146,430	173,400
賞与引当金の増減額 (△は減少)	46,184	20,717
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,292	△7,708
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△555	1,490
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	34,728	77,596
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,828	4,606
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,673	△1,060
保険解約損益 (△は益)	△175,907	—
助成金収入	△59,121	—
支払利息	9,689	14,961
固定資産除却損	76	1,362
売上債権の増減額 (△は増加)	440,148	278,950
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△309,173	△548,487
仕入債務の増減額 (△は減少)	151,632	17,133
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△58,698	11,744
その他	△56,206	78,810
小計	644,022	498,580
利息及び配当金の受取額	763	1,077
利息の支払額	△10,740	△15,457
助成金の受取額	59,121	—
法人税等の支払額	△203,488	△243,291
営業活動によるキャッシュ・フロー	489,678	240,907
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△670,402	△622,227
無形固定資産の取得による支出	△14,562	△47,032
保険積立金の解約による収入	410,670	—
その他	△9,318	119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△283,613	△669,140
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	570,000	△370,000
長期借入れによる収入	—	550,000
長期借入金の返済による支出	△30,166	△72,786
割賦債務の返済による支出	△23,387	△16,610
リース債務の返済による支出	△15,644	△5,647
配当金の支払額	△94,692	△92,521
自己株式の取得による支出	△109,105	△145,126
財務活動によるキャッシュ・フロー	297,003	△152,692
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	503,068	△580,925
現金及び現金同等物の期首残高	2,341,386	2,249,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,844,454	1,668,702

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

前事業年度末の有価証券報告書の（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。